

2021年3月期決算説明会

2021年5月20日
高砂熱学工業株式会社



東証第1部：1969

目次

1. 2021年3月期連結決算概要 2022年3月期連結業績予想・株主還元

取締役CFO 原 芳幸 P.2

2. 高砂熱学が取り組むE S G・S D G sの進捗 中期経営計画に関する進捗

社長COO 小島 和人 P.10

Appendix. 資料集

P.18

2021年3月期 連結決算概要
2022年3月期 連結業績予想・株主還元

取締役 C F O

原 芳幸

2021年3月期決算の特徴と今後の展望

<連結業績>

- ◆大型工事進捗の端境期に加え、新型コロナウイルスの感染拡大長期化により中小規模工事の売上・利益減少
- ◆売上総利益率（13.4%）は、前期並みの高水準（2020年3月期：13.5%）

<今後の展望>

- ◆各種産業の設備投資動向に注視を要するものの、好調な半導体・電子部品分野を中心に産業比率ならびにリニューアル比率を高め、利益確保に努める。
- ◆中期経営計画に基づく、施工プロセス変革・DX推進・事業創出に取り組み「経営基盤の強靱化」を図る。

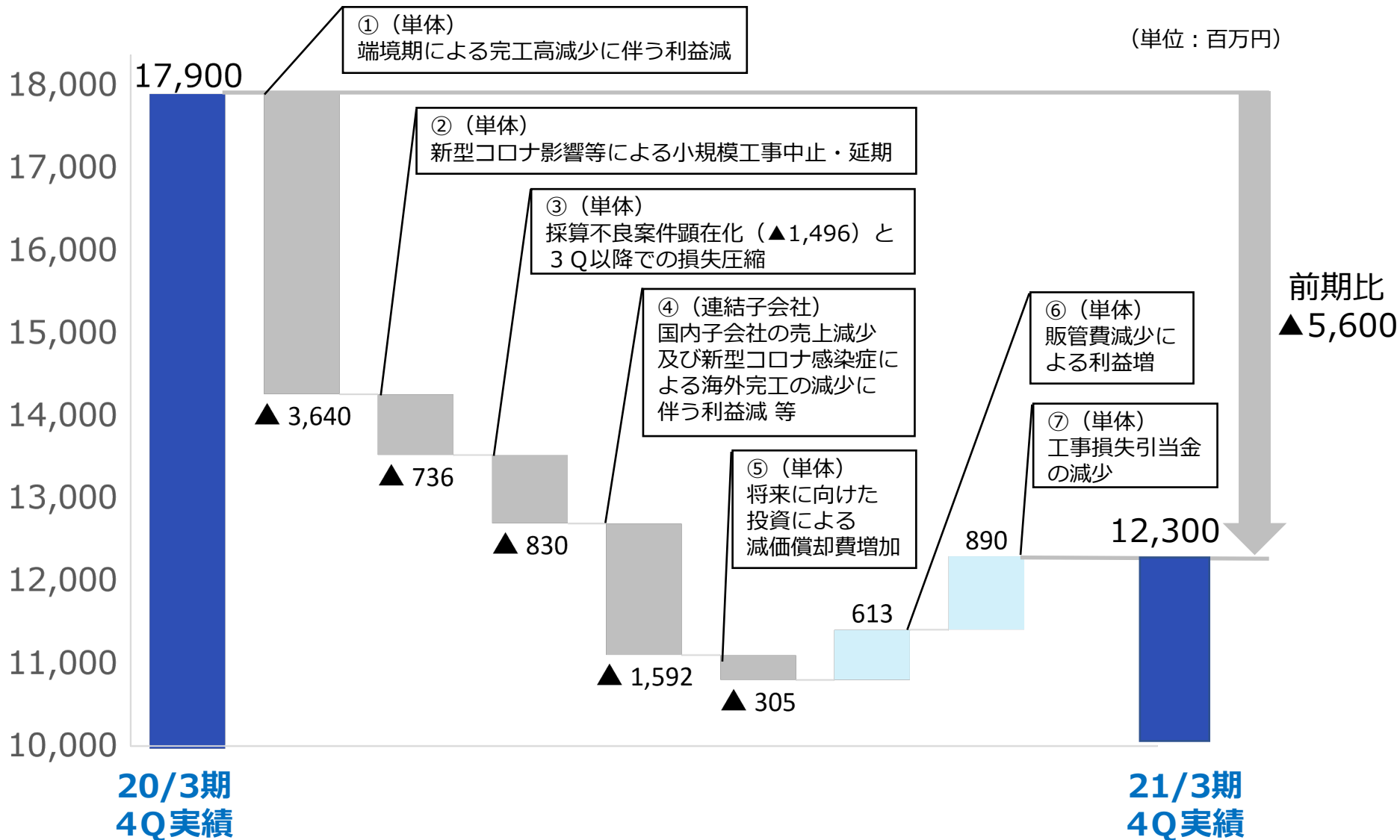
2021年3月期 連結業績サマリー

(単位：百万円、%)

	2020/3期	2021/3期		
	実績	実績	増減	増減率
売上高	320,893	275,181	▲45,712	▲14.2
売上総利益 (売上総利益率)	43,376 (13.5)	36,845 (13.4)	▲6,531 (▲0.1)	▲15.1 —
営業利益 (営業利益率)	17,900 (5.6)	12,300 (4.5)	▲5,600 (▲1.1)	▲31.3 —
経常利益 (経常利益率)	19,286 (6.0)	13,902 (5.1)	▲5,384 (▲0.9)	▲27.9 —
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	13,231 (4.1)	10,116 (3.7)	▲3,115 (▲0.4)	▲23.5 —
ROE	10.8	8.0	▲2.8	—

受注高	297,883	287,501	▲10,382	▲3.5
繰越高	221,261	233,581	+12,320	+5.6

連結営業利益の主な増減要因（前期比）

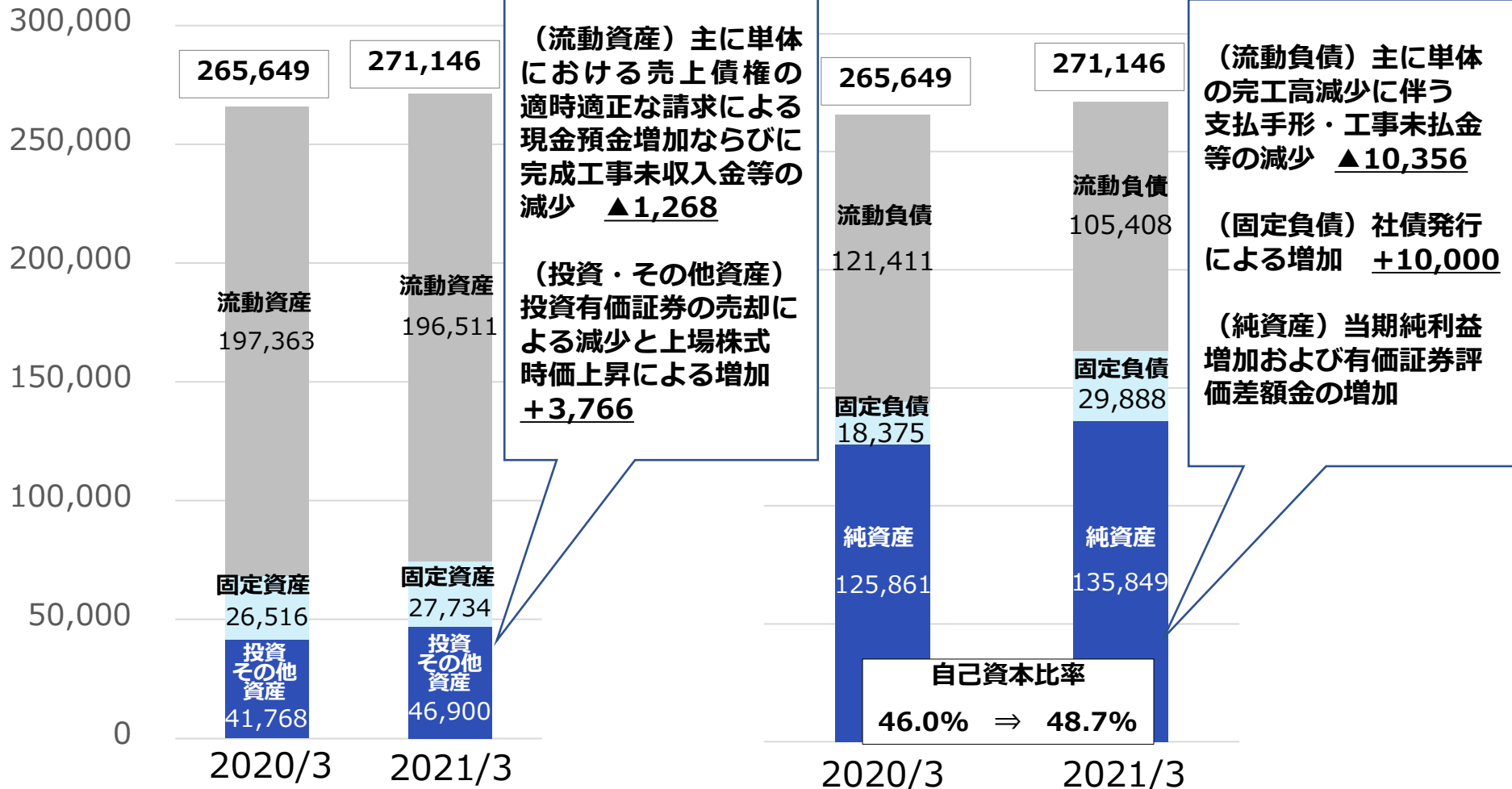


連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部

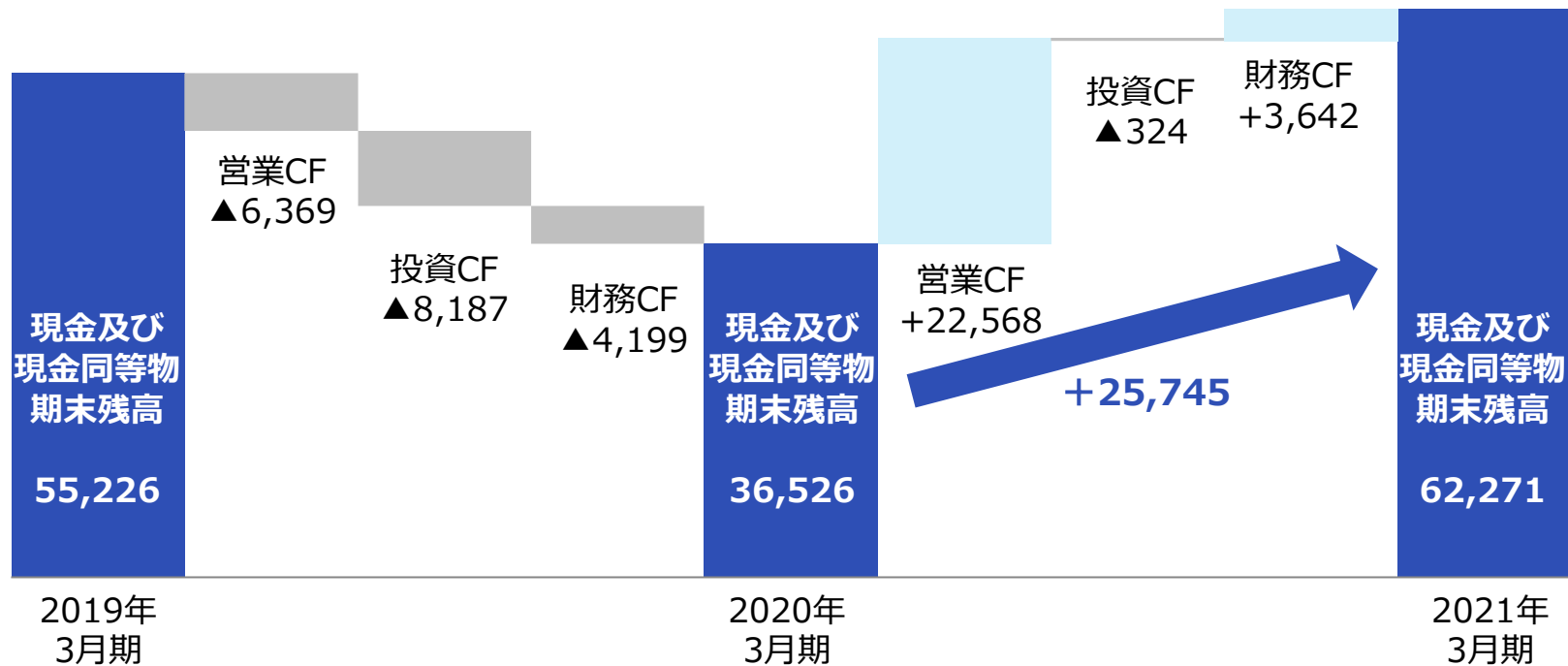
負債・純資産の部



キャッシュ・フロー

現金及び現金同等物期末残高の推移

(単位：百万円)



(注) 現金及び現金同等物に係る換算差額除く

- ◆ 営業CFは、売上債権の減少、賞与引当金の減少等により、前期比で+28,937増加
- ◆ 財務CFは、社債発行による収入の増加等により、前期比で+7,841増加

2022年3月期 業績予想

(単位：百万円、%)

- ◆ コロナ禍の中でも緩やかな回復を見込み、増収増益の見通し
- ◆ DX等将来に向けた成長投資の着実な実行に伴い、営業利益以降の利益率は前期水準を見込む
- ◆ 大型再開発や産業空調分野の底堅い投資状況の下、採算性や施工体制を勘案した受注活動を展開し、受注高は2.6%増加見込み

	2021/3期	2022/3期通期 予想			中期経営計画 KGI
	実績	予想	増減	増減率	
売上高	275,181	300,000	+24,819	+9.0	325,000
売上総利益 (売上総利益率)	36,845 (13.4)	42,900 (14.3)	+6,055 (+0.9)	+16.4 —	—
営業利益 (営業利益率)	12,300 (4.5)	13,800 (4.6)	+1,500 (+0.1)	+12.2 —	—
経常利益 (経常利益率)	13,902 (5.1)	15,000 (5.0)	+1,098 (▲0.1)	+7.9 —	20,000 (6.2)
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	10,116 (3.7)	11,000 (3.7)	+884 (±0.0)	+8.7 —	—
ROE	8.0	8.0以上	—	—	10.0以上
受注高	287,501	295,000	+7,499	+2.6	—

株主還元

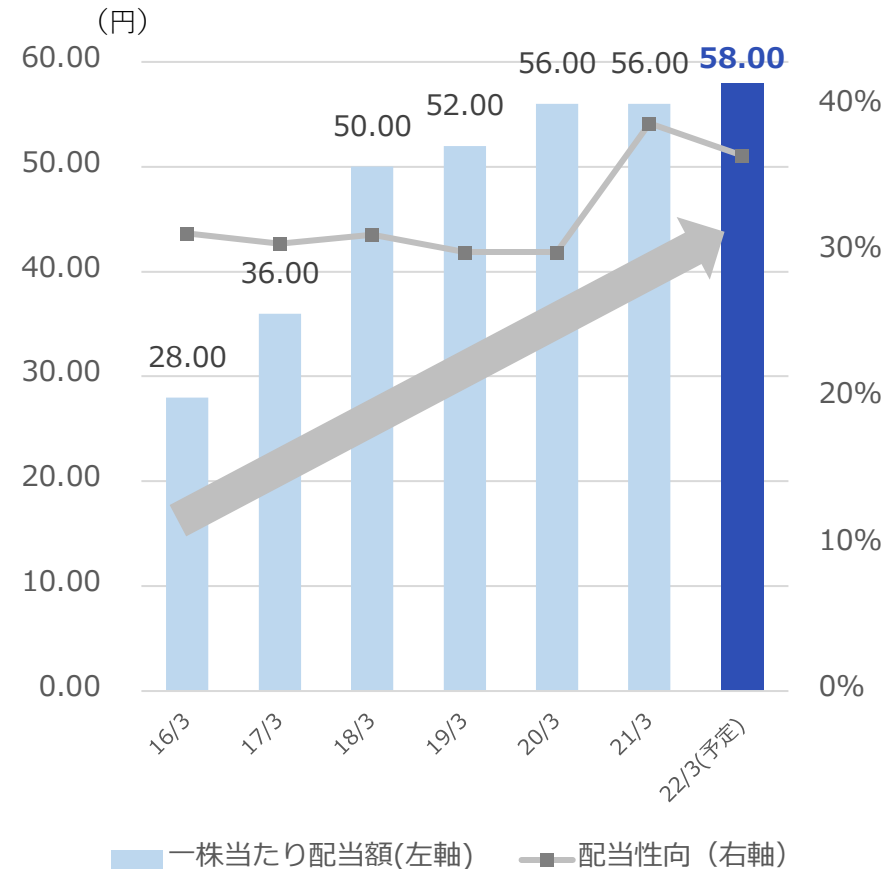
株主への利益還元を経営上の最重要課題の一つと位置づけ

配当方針

株主還元は配当を基本とし、現中期経営計画“iNnovate on 2023 go beyond!”の対象期間中は減配を行わず、当社グループの利益成長に応じ、配当を増加する方針。

なお、自己株式の取得は中長期的に株主価値を高める観点より、「財務健全性」と「資本効率」を踏まえつつ、市場環境や資本水準、事業投資機会等を総合的に勘案し機動的に実施。

配当の推移



高砂熱学が取り組む E S G ・ S D G s の進捗 中期経営計画に関する進捗

社長 C O O

小島 和人

高砂熱学が取り組む ESG・SDGs の進捗

地球に貢献する環境クリエイターへ

- 気候変動リスクに対する管理機能強化：TCFD賛同表明（2020年9月）
CO₂削減目標の計画と公表：SBT認定取得（2021年3月）



- 地球環境に貢献する環境技術開発の主な実績

E

メガストック（低温廃熱利用を目的としたハスクレイ蓄熱材及び高密度蓄熱システム開発）
⇒2020年12月
NEDO省エネルギー技術開発賞受賞



揮発性有機化合物（VOC）回収システム
⇒2021年5月
国立環境研究所・日刊工業新聞社 共催
第48回環境賞 優秀賞受賞



- 高砂熱学イノベーションセンター
：CASBEE-ウェルネスオフィス最高評価Sランク取得（2020年10月）
（その他環境認証）
BELS：2020年3月取得・LEED Gold：2020年7月取得



- 脱プラ・サーキュラーエコノミーへの取り組み
：現場掲示物にLIMEX素材を活用

高砂熱学が取り組むESG・SDGsの進捗

社員エンゲージメント向上

- 健康経営・働き方改革の推進
 - ：柔軟で働きやすい人事制度の整備
 - 社員と会社の価値観を共有
 - ：社是・経営理念に基づく行動指針の浸透
- S ⇒2021年4月Takasago Way 策定。グループ役職員へ展開。
- 人財が活きる働き方
 - ：社員一人ひとりのパーソナルデータに基づく人財活用戦略の構築



Takasago Way 表紙

ガバナンス強化

- 社外取締役の比率引き上げ（36.4% ⇒ 50.0%へ）
 - ⇒2021年6月開催予定の株主総会における社外取締役選任議案の承認可決を以って実施。
- 政策保有株式の圧縮（6銘柄売却）
- 2021年4月～ ESG推進委員会発足
- 非財務指標（CO₂排出量）の取締役等に対する評価への組み込み検討
 - ⇒2021年6月開催予定の株主総会における議案の承認可決を以って導入。



中期経営計画 KGI -Key Goal Indicator-

■ 高砂熱学グループ 2023年度のKGIを設定

➤ 【4つのKGI：売上高、経常利益、ROE、CO₂削減】

～2023年度 業績目標(連結)～

- **売上高** 3,250億円
(FY19対比 101%)
- **経常利益** 200億円
(FY19対比 104%)
- **ROE** 10.0%以上
(FY19 10.8%)
- **CO₂排出量(スコープ1・2)**
▲10%以上(FY19対比)
(スコープ全体 ▲5%以上)

* CO₂排出量については、高砂熱学工業(株)単体の数値となります

FY2019 **2020**

環境クリエイターとして
脱炭素社会の実現に向けて
地球環境に貢献

スコープ1・2
CO₂排出量
▲27.5%以上
(スコープ全体▲13.5%)
(FY19基準)

2030

2023

～創立100周年～

～2019年度 業績 (連結)～

● 売上高	3,208億円
● 経常利益	192億円
● ROE	10.8%
● CO ₂ 排出量 (単体)	489万t-CO ₂ (スコープ全体)

* 新型コロナウイルスの影響が2021年度後半より漸減することを前提

基本方針と3つの成長戦略

中期経営計画

2020年度～2023年度

“iNnovate on 2023 go beyond!”

— 経営基盤の強靱化 —

中期経営計画の基本方針

総合設備業への確実な進化

グループ総合力を発揮して、
総合設備業への進化を目指す

第2第3の柱となる事業を構築

グローバル市場の経営の現地化、環境
技術・フロンティアビジネスの育成に
よる新たな収益源を構築する

エンゲージメントの更なる向上

社員の意欲・能力を引き出す働き方
改革に取り組み、社員のワークライ
フバランスを向上させる

中期経営計画 3つの成長戦略

国内事業の
強靱化

国際事業の
変革

環境事業への
挑戦

高砂熱学のエンゲージメントを土台として進める

社員と会社が信頼し合い、社会に貢献すること≡人の和

成長戦略①「国内事業の強靱化」の進捗

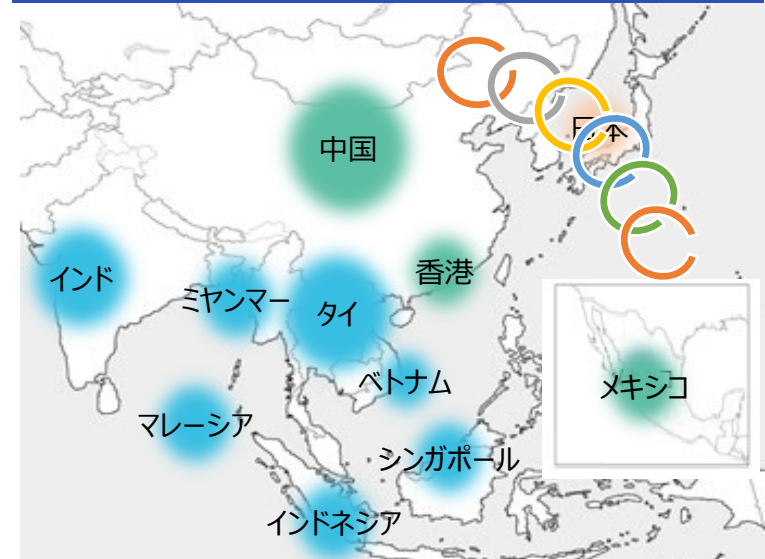


成長戦略② 「国際事業の変革」の進捗

国際事業の概況

- ◆2021/3月期は新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、前期比で受注高・売上高が減少したものの、エレクトロニクス・半導体、その他幅広い分野での受注・施工を展開。
- ◆ポストコロナを見据え、営業の強化に取り組む。

ALL Takasago 体制の確立

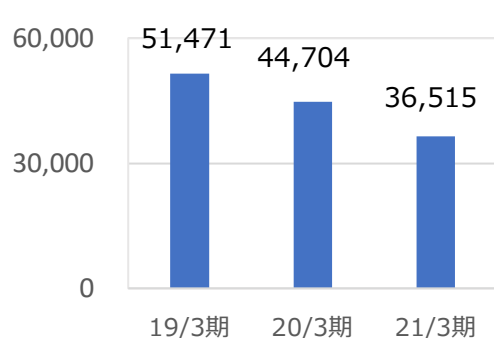


**2021年4月 本社 事業統括本部内に
国際 グループ事業統括部を新設
(国際事業部を移管)**

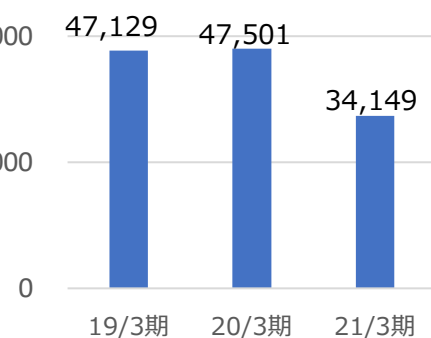
⇒機動的な受注判断を行うとともに、
海外市場における強固な事業基盤構築に
向け、ALL Takasago体制を
確立し経営の安定化・着実な成長はもと
より、ビジネスモデル変革に繋げていく。

受注高・売上高推移

受注高推移



売上高推移



(注) 受注高、売上高のセグメント間取引については、調整前。

成長戦略③ 「環境事業への挑戦」の進捗

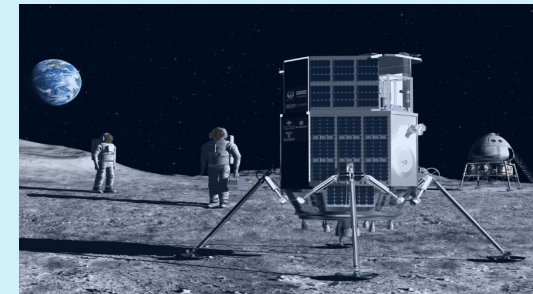
グリーンエネルギーによる環境事業

水素を核とした環境技術の開発に向け、組織横断型の水素事業戦略タスクフォースを2021年4月に組成し、事業化に向け推進。



フロンティアビジネス

月面探査プログラム「HAKUTO-R」を運営するispace社の第三者割当増資を引き受け、(2020年8月) 当社の熱利用と水電解技術の協業を推進。世界初の月面環境での水素生成を目指し挑戦中。



高砂スタイル不動産 《HERE™》

カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーを念頭に培ってきた環境技術を拡大し、ESGに貢献する環境に配慮した不動産HERE™を進行中。

※HERE™：高砂熱学グループが展開する不動産ブランドの名称

Appendix. 資料集

四半期別受注・売上実績（連結）

（単位：億円、％）

	受注					売上					
	2020/3期		2021/3期		前期比	2020/3期		2021/3期		前期比	
	四半期	累計	四半期	累計		四半期	累計	四半期	累計		
1Q	設備工事業	750	750	715	715	▲4.7	711	711	524	524	▲26.3
	一般設備	435	435	468	468	7.6	405	405	306	306	▲24.5
	産業設備	315	315	247	247	▲21.6	306	306	218	218	▲28.6
	設備機器の製造・販売事業	15	15	16	16	1.0	11	11	9	9	▲18.3
	その他	0	0	0	0	▲7.9	0	0	0	0	▲7.9
	合計	767	767	732	732	▲4.5	724	724	535	535	▲26.1
	(うち海外)	(78)	(78)	(55)	(55)	(▲29.2)	(124)	(124)	(60)	(60)	(▲51.4)
(うち保守・メンテナンス)	(65)	(65)	(62)	(62)	(▲4.3)	(48)	(48)	(47)	(47)	(▲1.4)	
2Q	設備工事業	852	1,602	634	1,350	▲15.8	713	1,425	627	1,151	▲19.2
	一般設備	479	915	367	836	▲8.6	441	847	342	648	▲23.4
	産業設備	372	687	266	513	▲25.3	271	577	284	503	▲12.9
	設備機器の製造・販売事業	17	33	13	29	▲11.7	16	28	14	23	▲17.1
	その他	0	1	0	1	▲2.1	0	1	0	1	▲2.1
	合計	870	1,637	648	1,380	▲15.7	730	1,454	641	1,176	▲19.1
	(うち海外)	(200)	(279)	(127)	(183)	(▲34.3)	(111)	(235)	(88)	(148)	(▲37.0)
(うち保守・メンテナンス)	(60)	(125)	(54)	(116)	(▲7.3)	(60)	(109)	(57)	(105)	(▲3.4)	
3Q	設備工事業	707	2,309	553	1,903	▲17.6	777	2,202	698	1,849	▲16.0
	一般設備	361	1,276	281	1,117	▲12.5	475	1,322	367	1,015	▲23.2
	産業設備	345	1,032	272	785	▲23.9	302	879	330	833	▲5.2
	設備機器の製造・販売事業	21	54	13	42	▲22.0	17	45	16	39	▲11.9
	その他	0	1	0	1	▲4.6	0	1	0	1	▲4.6
	合計	728	2,365	567	1,947	▲17.7	794	2,248	714	1,890	▲15.9
	(うち海外)	(71)	(350)	(82)	(265)	(▲24.4)	(107)	(342)	(74)	(223)	(▲34.8)
(うち保守・メンテナンス)	(55)	(180)	(57)	(173)	(▲3.7)	(62)	(171)	(62)	(168)	(▲1.9)	
4Q	設備工事業	597	2,906	913	2,816	▲3.1	939	3,141	843	2,692	▲14.3
	一般設備	364	1,640	438	1,555	▲5.2	567	1,889	496	1,511	▲20.0
	産業設備	233	1,265	475	1,260	▲0.4	372	1,251	348	1,181	▲5.6
	設備機器の製造・販売事業	17	71	15	57	▲19.4	20	65	18	57	▲12.0
	その他	0	1	0	1	▲13.6	0	1	0	1	▲13.6
	合計	613	2,978	928	2,875	▲3.5	960	3,208	861	2,751	▲14.2
	(うち海外)	(124)	(474)	(91)	(356)	(▲24.8)	(135)	(477)	(120)	(343)	(▲28.1)
(うち保守・メンテナンス)	(66)	(246)	(65)	(238)	(▲3.1)	(79)	(250)	(73)	(241)	(▲3.4)	

受注および販売の状況（単体・子会社別業績）

（単位：百万円、％）

		2019/3期	2020/3期	2021/3期	
		実績	実績	実績	前期比
受注高	単体	254,042	222,526	222,444	▲0.0
	国内子会社	36,364	40,190	37,862	▲5.8
	海外子会社	51,471	44,704	36,515	▲18.3
	調整額	▲7,991	▲9,538	▲9,321	—
	合計	333,887	297,883	287,501	▲3.5
売上高	単体	245,126	242,951	211,731	▲12.9
	国内子会社	37,217	40,367	38,285	▲5.2
	海外子会社	47,129	47,501	34,149	▲28.1
	調整額	▲9,639	▲9,925	▲8,984	—
	合計	319,834	320,893	275,181	▲14.2
連単倍率（売上高）		1.30倍	1.32倍	1.30倍	

受注および販売の状況（連結・事業別）

（単位：百万円、％）

			2019/3期		2020/3期		2021/3期		
			実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	前期比
受注高	設備工事	一般設備	192,721	57.7	164,062	55.1	155,527	54.1	▲5.2
		産業設備	134,551	40.3	126,538	42.4	126,091	43.9	▲0.4
	設備機器の製造・販売		6,457	1.9	7,129	2.4	5,749	2.0	▲19.4
	その他		156	0.1	153	0.1	132	0.0	▲13.6
	合計		333,887	100.0	297,883	100.0	287,501	100.0	▲3.5
	(うち海外)		(50,871)	(15.2)	(47,460)	(15.9)	(35,691)	(12.4)	(▲24.8)
(うち保守・メンテナンス)		(22,956)	(6.9)	(24,638)	(8.3)	(23,877)	(8.3)	(▲3.1)	
売上高	設備工事	一般設備	194,658	60.9	188,968	58.9	151,115	54.9	▲20.0
		産業設備	118,305	37.0	125,183	39.0	118,137	42.9	▲5.6
	設備機器の製造・販売		6,713	2.1	6,588	2.1	5,796	2.1	▲12.0
	その他		156	0.0	153	0.0	132	0.1	▲13.6
	合計		319,834	100.0	320,893	100.0	275,181	100.0	▲14.2
	(うち海外)		(47,360)	(14.8)	(47,749)	(14.9)	(34,311)	(12.5)	(▲28.1)
(うち保守・メンテナンス)		(23,632)	(7.4)	(25,056)	(7.8)	(24,194)	(8.8)	(▲3.4)	
繰越高	設備工事	一般設備	167,741	68.7	142,836	64.5	147,248	63.0	3.1
		産業設備	75,602	31.0	76,957	34.8	84,911	36.4	10.3
	設備機器の製造・販売		927	0.4	1,468	0.7	1,421	0.6	▲3.2
	合計		244,271	100.0	221,261	100.0	233,581	100.0	5.6
	(うち海外)		(28,362)	(11.6)	(28,073)	(12.7)	(29,453)	(12.6)	(4.9)
(うち保守・メンテナンス)		(2,184)	(0.9)	(1,766)	(0.8)	(1,449)	(0.6)	(▲17.9)	

（注）受注高、売上高および繰越高のセグメント間取引については、相殺消去している。

業績サマリー（個別）

(単位：百万円、%)

	2020/3期	2021/3期		
	実績	実績	増減	増減比
売上高	242,951	211,731	▲31,219	▲12.9
売上総利益 (売上総利益率)	31,576 (13.0)	27,261 (12.9)	▲4,315 (▲0.1)	▲13.7 —
営業利益 (営業利益率)	14,878 (6.1)	10,870 (5.1)	▲4,008 (▲1.0)	▲26.9 —
経常利益 (経常利益率)	17,169 (7.1)	13,008 (6.1)	▲4,161 (▲1.0)	▲24.2 —
当期純利益 (当期純利益率)	12,278 (5.1)	9,964 (4.7)	▲2,314 (▲0.4)	▲18.8 —
受注高	222,526	222,444	▲82	▲0.0
繰越高	192,562	203,275	+10,713	+5.6

工事種類別受注・完成工事高（個別）

工事種類別受注工事高（個別）

（単位：億円、％）

		2020/3期			2021/3期				
		2Q	通期	構成比	2Q	前期比	通期	構成比	前期比
合 計		1,239	2,225	100.0%	1,054	▲14.9%	2,224	100.0%	▲0.0%
一般設備・ 産業設備	一般設備	802	1,404	63.1%	724	▲9.7%	1,319	59.3%	▲6.1%
	産業設備	437	820	36.9%	330	▲24.4%	905	40.7%	10.4%
新築・ リニューアル	新築	565	995	44.8%	367	▲35.0%	971	43.7%	▲2.4%
	リニューアル	673	1,229	55.2%	687	2.0%	1,253	56.3%	2.0%

工事種類別完成工事高（個別）

（単位：億円、％）

		2020/3期			2021/3期				
		2Q	通期	構成比	2Q	前期比	通期	構成比	前期比
合 計		1,083	2,429	100.0%	899	▲17.0%	2,117	100.0%	▲12.9%
一般設備・ 産業設備	一般設備	740	1,653	68.1%	543	▲26.7%	1,276	60.3%	▲22.8%
	産業設備	343	776	31.9%	356	3.7%	841	39.7%	8.4%
新築・ リニューアル	新築	461	1,050	43.2%	396	▲14.1%	847	40.0%	▲19.3%
	リニューアル	622	1,379	56.8%	502	▲19.2%	1,270	60.0%	▲7.9%

（注）当社国際G事業統括部のみの数値、海外は現地法人（連結子会社）を中心に展開している。

設備工事業 ー 主な工事物件

国内

◆受注物件

- ・ 日生丸の内タワー
- ・ 東京理科大学葛飾C新校舎建設
- ・ 赤坂ツインタワー高層・ホテル
- ・ ホクト三重きのことセンター
- ・ 産総研中央2改修

等

◆完成物件

- ・ 東京メトロ銀座駅改修
- ・ WTC建替1期工事
- ・ 神戸阪急ビル東館新築工事
- ・ 松山赤十字病院改修
- ・ 産総研西1・2・4棟改修

等

海外

◆受注物件

- ・ 中国 蘇州 M社 3期拡張工事
- ・ マレーシア I社 半導体工場
- ・ タイ M社 F計画セントラル
ユーティリティプラント工事
- ・ タイ G社 バッテリー工場工事
- ・ インド T社ITパーク建設工事

等

◆完成物件

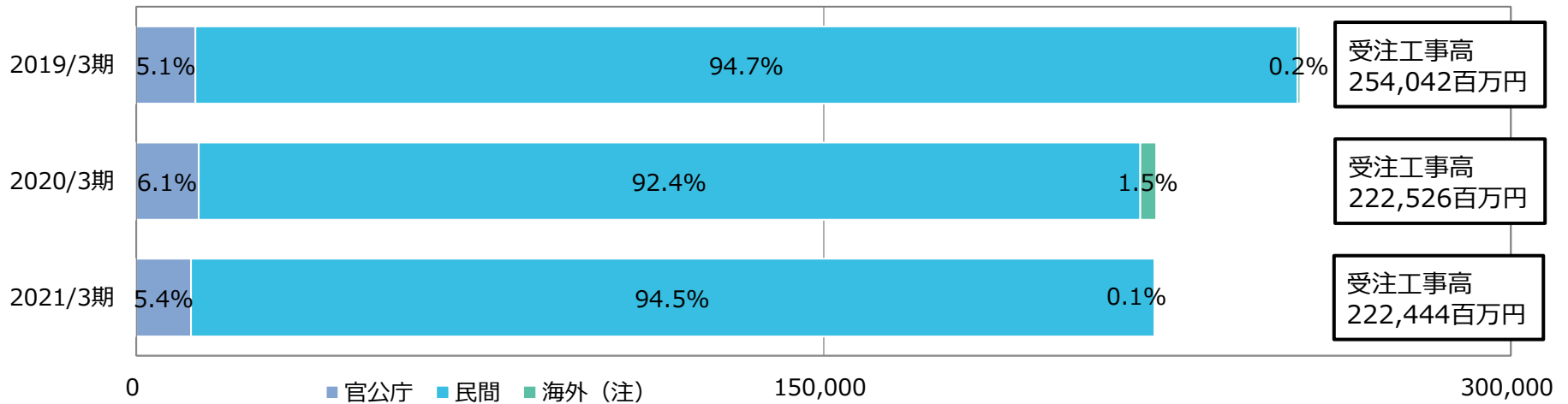
- ・ 中国 常州 W社 建設工事
- ・ 香港 U社 空調換気設備工事
- ・ シンガポール I社 空調換気設備工事
- ・ タイ N社 新工場第4ビル
- ・ ベトナム S社 機械・電気設備工事

等

(注) 公表可能なもののみ掲載。また、物件名は当社において使用している名称であり、工事契約上の名称と異なる場合がある。

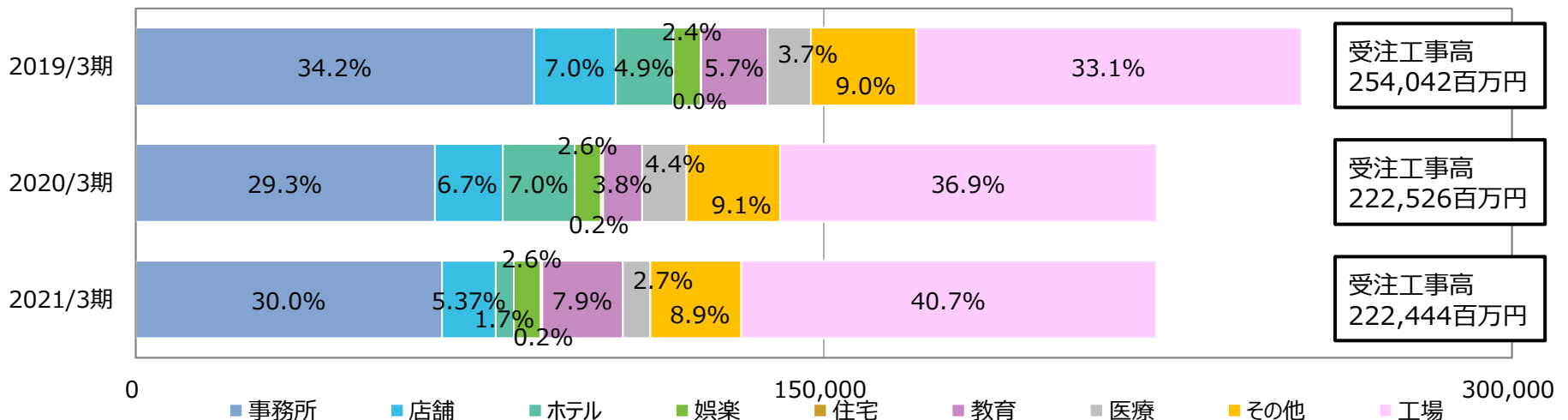
受注工事高内訳（個別）

官公庁・民間・海外



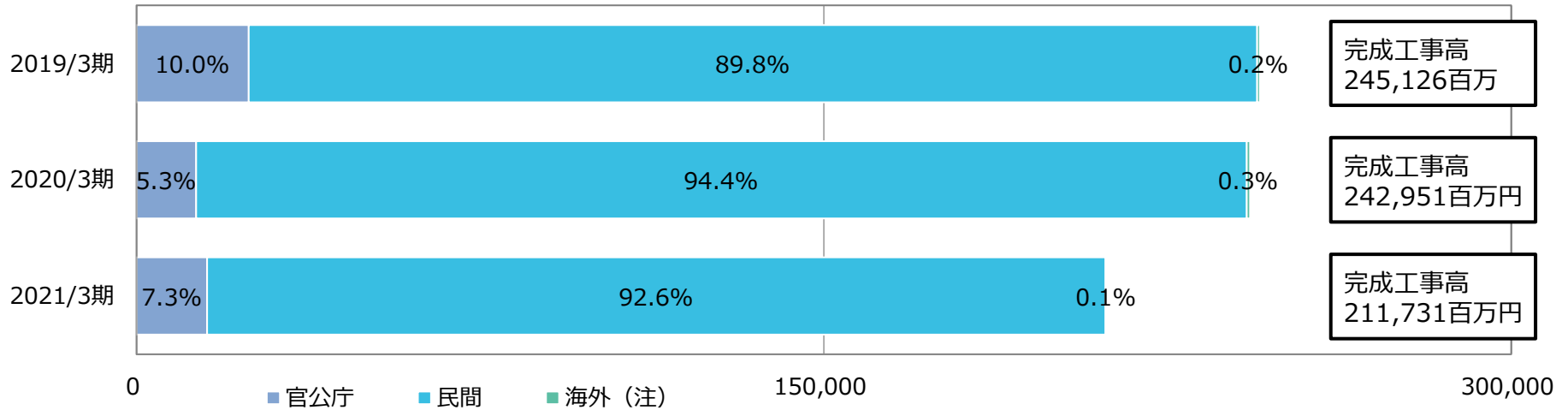
(注) 当社国際G事業統括部のみの数値、海外は現地法人（連結子会社）を中心に展開している。

用途別



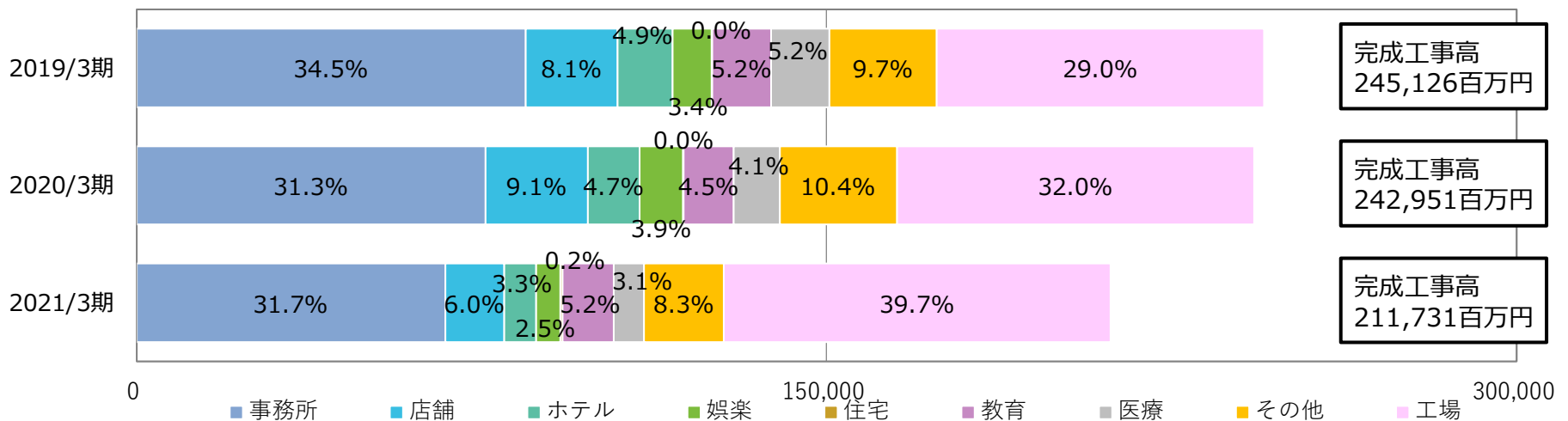
完成工事高内訳（個別）

官公庁・民間・海外



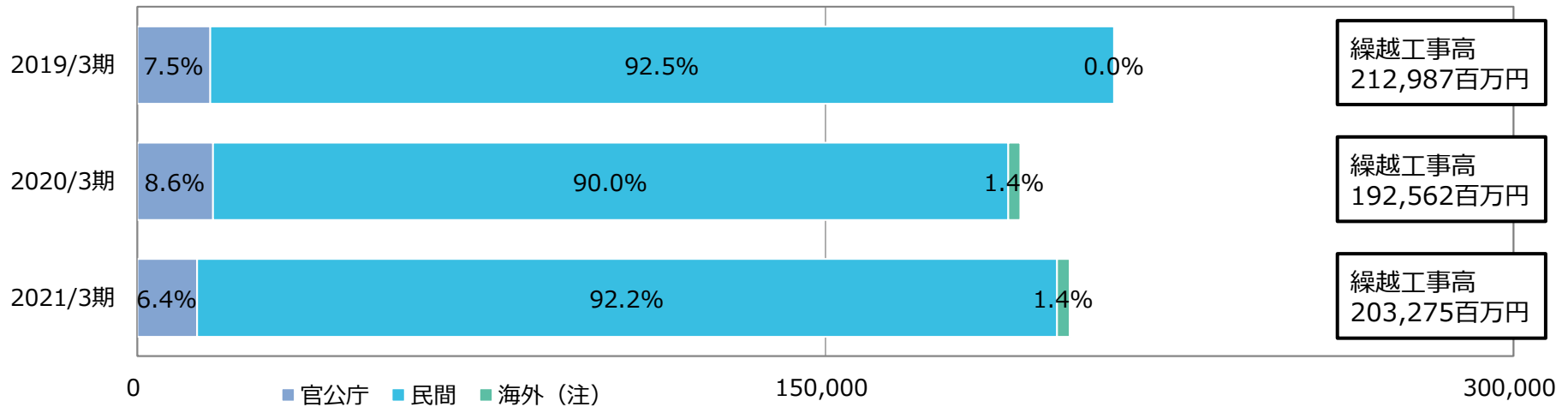
(注) 当社国際G事業統括部のみの数値、海外は現地法人（連結子会社）を中心に展開している。

用途別



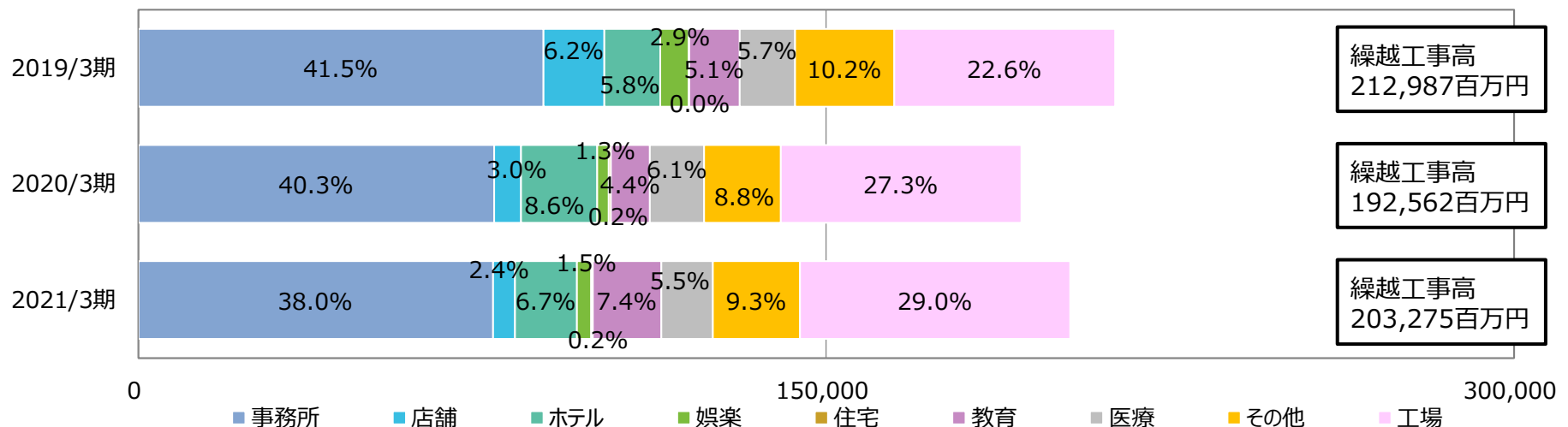
繰越工事高内訳（個別）

官公庁・民間・海外



(注) 当社国際G事業統括部のみの数値、海外は現地法人（連結子会社）を中心に展開している。

用途別



その他のデータ

設備投資

(単位：百万円)

	2020/3期	2021/3期
連結	12,669	4,422
個別	11,883	3,887

減価償却費（固定資産）

(単位：百万円)

	2020/3期	2021/3期
連結	1,300	1,537
個別	595	832

研究開発費

(単位：百万円)

	2020/3期	2021/3期
連結	1,357	889
個別	1,251	793

元請負・下請負比率

(単位：%)

		2020/3期	2021/3期
個別	元請負	50.7	50.4
	下請負	49.3	49.6

当期受注かつ当期完成比率

(単位：%)

	2020/3期	2021/3期
個別	39.0	37.2

期末従業員数

(単位：名)

	2020/3期	2021/3期
連結	5,899	5,890
個別	2,064	2,116

将来予測に関する注意事項

この資料に掲載してある将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

このため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更される可能性がありますので、あらかじめ御了承ください。

IRに関するお問い合わせ先

高砂熱学工業株式会社

経営企画本部 広報部 中村、平木

〒160-0022 東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア12階

TEL : 03-6369-8215 FAX : 03-6369-9103

メールアドレス :

isao_nakamura@tte-net.com; terumasa_hiraki@tte-net.com



高砂熱学

